

【視覚障害×日本縦断】1,460kmを徒歩で踏破したハワイ在住クリエイターが、今年はハワイと日本の2つの出雲大社を繋ぐ単独徒歩の旅に挑戦 ～広島から出雲大社まで約200km、秩父と宇都宮を約100kmずつ歩き、困難に挑む姿を世界に発信～

日本をテーマに活動するハワイ在住のコンテンツクリエイターであり、視覚障害(※1)のあるトニー・R・ベガ(Tony R. Vega)は、2023年から毎年9月から10月にかけてハワイから来日し、3年をかけて東京都中央区から鹿児島県鹿児島市まで徒歩で計1,460kmを縦断、その様子をソーシャルメディアを通じて発信してきました。

2026年は、「出雲チャレンジ」と称し、広島駅から島根県の出雲大社を目指す約200kmの単独徒歩の旅を11月に行います。これまでにやってきた日本での長距離徒歩に加え、ハワイ出雲大社(ホノルル市)からダニエル・K・イノウエ国際空港までの区間や、羽田空港から川崎駅までの区間の徒歩での踏破に挑戦し、ハワイと日本の2つの出雲大社を徒歩でつなぐルート在完成させます。これに先立ち、2026年8月29日には、ハワイ出雲大社で天野大也宮司から道中の安全祈願を受けました。

また、10月に埼玉県秩父札所34観音霊場を約100km歩く「秩父34チャレンジ」と、東京・日本橋から栃木県の宇都宮まで約100kmを歩く「宇都宮チャレンジ」を行います。

一連のチャレンジは、視覚障害者であるベガ自身が単独での徒歩の旅に挑み、またその様子を発信することで、視覚障害者が直面する様々な困難について人々の関心を促し、また障害に関わらず自身の限界に挑もうとする人々の背中を押すために実施されます。

※1「障害」または「障がい」という表記は、視覚障害を持つ方が利用する音声読み上げソフトウェア等を使用する際に正しい音声に変換されないケースがあるため、本プレスリリースではベガ本人の同意の元で「障害」という表記で統一します。



ハワイ出雲大社の天野大也宮司とトニー・R・ベガ
(2026年8月29日)

【本チャレンジ概要】広島から出雲まで約200kmを10日で踏破

今回行う「出雲チャレンジ」は、ハワイの出雲大社(ホノルル市)から日本の出雲大社(島根県出雲市)を徒歩でつなぐチャレンジです。視覚障害当事者であるベガが日本を旅する「ブラインド・ジャパン・プロジェクト」における、単独徒歩での日本縦断プロジェクトの一環として行われ、これまで踏破してきたルートと組み合わせることで、達成となります。

広島駅を11月3日に出発し、約200kmを歩いて島根県の出雲大社を目指します。到着は、11月13日前後を見込んでいます。(天候などによる遅れがなければ概ね9日間での踏破が可能ですが、雨天による日程変更や休養日などを考慮し10日間の旅程を組んでいます。)

ベガの行う徒歩による旅には、白杖とスマートフォンの地図アプリが不可欠です。大まかなルートは事前に決定しますが、視覚障害を持つベガにとっては、注意書きや看板を見つけて情報を得ることは難しく、想定以上に移動に時間がかかることも少なくないため、一日の移動距離は必要に応じて変更されます。1日目の目標地点に到達したら電車やバスといった公共交通機関を使って宿泊地に移動、翌日はまた公共交通機関を使って前日の終了地点に移動し、そこから2日目の目標地点まで歩く、という行程を繰り返して行われます。

なお、今回の「出雲チャレンジ」は、昨年のチャレンジに引き続き企業スポンサーの支援を受けて実施されます。訪日外国人に向けた日本国内用のSIMカードやWi-Fiを取り扱っているモバル・コミュニケーションズ・リミテッド(※2)の日本ブランド「モバル(Mobal)」は、チャレンジ期間中のインターネット接続を提供します。同社が支援する安定したインターネット環境により、地図アプリによる正確なナビゲーションおよびソーシャルメディアでのリアルタイム配信が可能になります。また、日本発のテクノロジーと日本のデジタルアートにフォーカスした配信活動を行うオンラインコミュニティであるユナイテッドネコアライアンス(United Neko Alliance)は、本プロジェクトの趣旨に賛同し活動資金を支援します。

名 称	ブラインド・ジャパン・プロジェクト「出雲チャレンジ」
期 間	2026年11月3日からおよそ10日
区 間	広島駅(広島県広島市) から 出雲大社(島根県出雲市) まで約200km
スポンサー	1. モバル (Mobal、公式サイト[英語]: https://www.mobal.com) 2. ユナイテッドネコアライアンス(United Neko Alliance、X[旧Twitter]アカウント: https://x.com/nekoalliance)
スペシャル サポーター	1. ハワイ出雲大社(出雲大社ハワイ分院) 2. ハワイ視覚障害者協会(Hawaii Association of the Blind) 3. Outdoor Vitals (米国のアウトドア・キャンプギアブランド)

トニー・R・ベガからのコメント

「2025年に東京から鹿児島まで約1,460kmを歩き終えた時、『次の挑戦は何にしようかな』と考えていたら、いろいろなアイデアが浮かびました。その一つが、ハワイ出雲大社から日本の出雲大社まで歩くという企画でした。僕が住んでいるハワイと日本の深い絆に焦点を当てたいと思いました。そして、大学で日本の文化や歴史について学び始めた頃から、ずっと出雲大社を訪れてみたいと思っていましたがこれまでなかなかその機会がありませんでした。今回の企画でようやく念願の出雲大社を訪れることができます。

もちろん、今まで通り僕のゴールは変わっていません。視覚障害について知ってもらうこと、そして視覚障害があっても誰でもすごいことができるということを伝えたいです。同時に、ハワイ出雲大社というとてもユニークな場所を、もっと多くの人に知ってもらいたい。そして、外国人がまだそれほど多く訪れていない島根県の魅力も、もっと知ってもらいたいと思っています。

広島から出雲大社まで歩くのは簡単ではないことは分かっています。今年も道に迷ったり、いろいろなトラブルが起きたりすると思います。でも、そういうことも旅の一部です。大変な時もうれしい時も、そのまま発信しながら頑張ります！」



トニー・R・ベガ

【実績】3年間で1,460kmを単独徒歩で踏破(これまでのチャレンジ概要)

トニー・R・ベガは、18才で遺伝性視神経症により視力の大部分を失いますが、アメリカと日本の両国で語学教師として勤務したり、ハワイで発行された雑誌の編集長を務めたりするなど、視覚に障害を抱えながらも様々な挑戦をしてきました。

視覚障害当事者であるベガが日本を旅する「ブラインド・ジャパン・プロジェクト」の最初の取り組みとして、下記のチャレンジを行ってきました。3年かけて行った3つのチャレンジの総距離は、約1,460kmとなりました。

2023年「東海道チャレンジ」

京都の三条大橋から東京の日本橋まで、東海道約500kmを25日かけて歩く

2024年「宮島チャレンジ」

京都の三条大橋から広島県の宮島(最終ゴールは山口県岩国駅)まで約400kmを22日かけて歩く

2025年「九州チャレンジ」

山口県岩国市から鹿児島県の桜島まで約560kmを30日かけて歩く

ベガは、一連の単独徒歩の旅を通じて、次に4つを目指しています。

- ①視覚障害に関する認識の向上に寄与すること。
- ②視覚障害者が直面する困難とその乗り越え方に関する理解の向上に寄与すること。
- ③人々が自身に挑戦する気持ちを後押しすること。
- ④日本について、特に人々のやさしさと広範囲に発展している公共交通網について世界に発信すること。

□ 直近のプレスリリース:

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000002.000169951.html>

□ 過去の単独徒歩旅チャレンジ詳細:

トニー・R・ベガ ウェブサイト <https://tonyrvega.com/ja>

□ 過去の単独徒歩旅チャレンジの様子:

YouTubeチャンネル内「Tokaido Challenge (東海道チャレンジ)」再生リスト

(https://www.youtube.com/playlist?list=PL7ALB_S1KyWunL6kIbGu_Vtmswe1qxIHq)2023年に行った「東海道チャレンジ」ゴールの様子
(東京都中央区の日本橋)2024年に行った
「宮島チャレンジ」の様子
(広島県廿日市市宮島町の厳島神社)2025年に行った「九州チャレンジ」の様子
(鹿児島県鹿児島市の桜島)

【関連企画】2026年の秩父34チャレンジと宇都宮チャレンジ および 2027年の東北チャレンジ

出雲チャレンジのための来日に合わせ、2026年10月に埼玉県秩父市所34観音霊場を約100km歩く「秩父34チャレンジ」を行う予定です。現時点では、10月19日(月)から10月22日(木)の予定です。その後、東京・日本橋から栃木県の宇都宮まで約100kmを歩く「宇都宮チャレンジ」を行います。現時点では、10月23日(金)から10月29日(木)を予定しています。この区間を達成すると、これまでのチャレンジと合わせて宇都宮から鹿児島中央まで約1,560kmの距離を歩いたことになります。なお、「宇都宮チャレンジ」の現時点でのゴール地点は宇都宮駅を予定していますが、ルートや日程により変更される可能性があります。

2027年の5月には、本州最北端の大間岬(青森県下北郡)から東京まで、約1,000kmをタンデム自転車で走破する「東北チャレンジ」を行います。5月中に2週間程度の日程を予定しています。



「出雲チャレンジ」ロゴ



「秩父34チャレンジ」ロゴ



「宇都宮チャレンジ」ロゴ

中心にいるのは、トニー・R・ベガのオリジナルマスコットキャラクター、「MAJISON (読み: マジソン)」。

MAJISONおよび各種ロゴデザインを手がけたのは、名古屋市のアーティスト、ほーらい・Hourai

X(旧Twitter)アカウント: <https://twitter.com/1025Hourai>

トニー・R・ベガ 略歴

ハワイ在住のコンテンツクリエイターで、日本をテーマにしたメディア事業「JapanKyo(ジャパンキョウ)」の創設者。記事執筆や動画制作、ポッドキャスト制作など幅広く活動している。またハワイ視覚障害者協会(Hawaii Association of the Blind)の第一副会長として、視覚障害者・弱視者の権利向上と啓発活動にも積極的に取り組んでいる。

- ・ 幼少期に日本のアニメを見たことで日本のコンテンツと日本語に興味を持つ。
- ・ 2003年、レーベル遺伝性視神経症(LHON)により、18才で視力の大部分を失い、中心視野を喪失。読み書きや運転など日常生活に不自由が生じるほどの弱視状態となる。
- ・ 大学在学中に関西外国語大学に1年間留学し、2010～2013年にはJETプログラム参加者として兵庫県神戸市で英語を指導。また神戸市立盲学校での勤務経験も持つ。
- ・ 帰国後にハワイ大学マノア校大学院に進学、日本語言語学の修士号を取得。
- ・ 2017～2022年、ハワイで日本文化・語学雑誌『Wasabi Magazine』編集長を務める(現在は廃刊)。
- ・ 現在は、日本語および言語学の修士号と日本のアニメに関する深い知識を生かして「アニメ言語学者」として日本・日本語・アニメをテーマにしたポッドキャストやYouTube動画の制作をしている。

- ウェブメディア「JapanKyo」: <https://japankyo.com>
- X(旧Twitter)アカウント: <https://x.com/thevegatony>
- Instagramアカウント: <https://instagram.com/tonyrvega>
- Blueskyアカウント: <https://bsky.app/profile/tonyrvega.bsky.social>
- YouTube: <https://www.youtube.com/@theanimelinguist>

取材に関して

トニー・R・ベガは、2026年10月15日から11月17日まで日本に滞在する予定です。旅の出発前、挑戦中、完了後のいずれのタイミングでも取材をご相談いただけます。インタビューやメディア出演など、幅広いご依頼に対応可能です。これまでの活動や経験、現在取り組んでいること、今後の挑戦などについてお話しできます。(日本語で対応可能です。)トニー・R・ベガに関する取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

ブラインド・ジャパン・プロジェクト 事務局
広報担当: 上山(かみやま)
E-mailアドレス: miyuki.kamiyama@ymail.ne.jp